

報告第五五三號

官業労働總同盟小倉革正會解散狀況

昭和十一年九月十二日

官業労働總同盟小倉革正會解散狀況

大正十三年五月創立の官業労働總同盟小倉革正會は今回陸軍當局の採りたる官業労働總同盟に對する方針に基き達兵廠小倉工廠より労働組合の解散を建議せられたる結果遂に九月十二日過去十四年の歴史を持つ小倉革正會の解散を宣明するに至つたのであるが狀況左の通り。

小倉革正會に在りては昨年十月小倉市に於て官業労働總同盟の年次大會に代る中央委員會（報告第四五〇號）を持つて以來今日迄工廠當局との關係上役員會は勿論何等の活動なく組合員二百四十名を擁し乍ら有名無實の狀態にありたる處去る九月十日當局より組合運動解散の建議ありたる爲會長大平嘉三郎は直ちに主事吉良勝人外幹部と協議を重ねたる結果解体する事を申合せ九月十二日工廠並所轄小倉警察署に夫々解体